

【血管炎関連3班合同班会議】

厚労省：難治性血管炎に関する調査研究班

AMED：難治性血管炎診療のエビデンス構築のための戦略的研究班

AMED：ANCA 関連血管炎の新規治療薬開発を目指す戦略的シーズ探索と臨床的エビデンス構築研究班

平成28年度 第2回 血管炎関連3班合同班会議 プログラム

期日：平成28年12月9日（金）

場所：都市センターホテル

開会の辞

9：00－9：05
有村義宏（杏林大学）

厚労省難治性血管炎に関する調査研究班

1. 厚生労働省より基調講演

9：05－9：20
厚生労働省 健康局疾病対策課

2. 研究班の活動報告

9：20－9：40
研究代表者 有村義宏（杏林大学）

3. 分科会活動報告

I. 中・小型血管炎臨床分科会

9：40－10：00
分科会長 針谷正祥（東京女子医科大学）

II. 国際協力分科会

10：00－10：20
分科会長 藤元昭一（宮崎大学）

III. 大型血管炎臨床分科会

10：20－10：40
分科会長 磯部光章（東京医科歯科大学）

IV. 臨床病理分科会

10：40－11：00
分科会長 石津明洋（北海道大学）

V. 横断協力分科会

11：00－11：20
分科会長 高崎芳成（順天堂大学）

4. AMED 戦略推進部より基調講演

11：20～11：35
難病研究課 中村 勝

5. 各分科会会議

11：35－12：15

中・小型血管炎臨床分科会（BVAS レクチャー）：601 会議室、大型血管炎臨床分科会：603 会議室
国際協力分科会：604 会議室、臨床病理分科会：608 会議室、横断協力分科会：609 会議室

～ お 昼 休 憩 ～

12：15－13：15

※尚、昼食時に604 会議室にて「血管炎登録・ガイドライン作成・普及推進委員会」

（研究代表者・各分科会長・事務局）を開催いたします。

AMED 難治性血管炎診療のエビデンス構築のための戦略的研究班

- | | |
|--------------------------------|------------------------------------|
| 1) 研究班の活動報告 | 13:15-13:35 |
| | 研究開発代表者 有村義宏 |
| 2) 戦略的臨床研究分科会進捗報告 | 分科会長 針谷正祥 |
| Ⅰ. AAV のリサーチアジェンダの検討 年度計画・進捗報告 | 13:35-13:45
長坂憲治・本間 栄 |
| Ⅱ. AAV コホート研究における有効性 進捗報告 | 13:45-14:05
佐田憲映・本間 栄・和田隆志・針谷正祥 |
| Ⅲ. AAV の肺画像解析 進捗報告 | 14:05-14:15
本間 栄 |
| Ⅳ. PEXIVAS 試験 進捗報告 | 14:15-14:25
藤元昭一 |
| Ⅴ. RemIRIT 研究 進捗報告 | 14:25-14:35
長坂憲治 |
| Ⅵ. AAV における健康関連 QoL 進捗報告 | 14:35-14:45
勝又康弘 |
| Ⅶ. AAV における医療経済学的検討 年度計画・進捗報告 | 14:45-14:55
田中榮一 |
| 3) 戦略的病因・病態研究分科会進捗報告 | 分科会長 石津明洋 |
| Ⅰ. 大型血管炎の病因・病態解析 進捗報告 | 14:55-15:05
磯部光章 |
| Ⅱ. 血管炎の感受性遺伝子解析 進捗報告 | 15:05-15:15
土屋尚之 |
| Ⅲ. 血管炎の分子基盤解析 進捗報告 | 15:15-15:25
宮崎龍彦 |
| Ⅳ. 血管炎の細胞障害機序解析 進捗報告 | 15:25-15:35
駒形嘉紀 |
| Ⅴ. 血管炎の自己抗体解析 進捗報告 | 15:35-15:55 |
| 1) 血管炎の自己抗体解析 | 川上民裕 |
| 2) 血管炎の自己抗体解析 ー抗 NETs 抗体の存在と意義 | 石津明洋 |
| 4) 事務局より連絡 | 15:55-16:00
駒形嘉紀 |

AMED : ANCA 関連血管炎の新規治療薬開発を目指す戦略的 シーズ探索と臨床的エビデンス構築研究班

1. 研究班全体の進捗報告 16 : 00 – 16 : 10
研究開発代表者 針谷正祥

2. 研究開発活動報告
 - I. 顕微鏡的多発血管炎および多発血管炎性肉芽腫症に対するトシリズマブの医師主導治
験準備 進捗報告 16 : 10 – 16 : 30
針谷正祥・堤野みち

 - II. 大規模プロテオーム解析による新規活動性マーカーと治療標的蛋白の探索 進捗報告
16 : 30 – 16 : 40
長谷川 均

 - III. 包括的ゲノム情報に基づくシーズ探索 進捗報告
16 : 40 – 16 : 50
土屋尚之

 - IV. 網羅的遺伝子発現解析と bioinformatics による新規分子標的の探索 進捗報告
16 : 50 – 17 : 00
竹内 勤

 - V. 好中球細胞外トラップ (NETs) を標的とする新規治療開発 進捗報告
17 : 00 – 17 : 10
石津明洋

 - VI. Lactoferrin (Lf) 由来ペプチドを用いた NETs 制御による新規治療開発 進捗報告
17 : 10 – 17 : 20
平橋淳一

- 閉会の辞 17 : 20 – 17 : 30
研究開発代表者 針谷正祥